

令和7年4月8日

堺市議会

議長 田 渕 和 夫 様

孤独・孤立社会対策調査特別委員会 活動報告書

孤独・孤立社会対策調査特別委員会

委員長 小 堀 清 次

本委員会の令和6年度の活動経過について、次のとおり報告します。

孤独・孤立社会対策調査特別委員会委員

委員長	小堀清次
副委員長	小野伸也
委員	萱野孝弥
委員	藤本憲
委員	西川知己
委員	西川良平
委員	青谷幸浩
委員	上田勝人
委員	木畑匡
委員	井関貴史
委員	田代優子
委員	長谷川俊英

1. 設置目的

コロナ禍で、自殺、孤独死、引きこもり、ヤングケアラー、不登校等の孤独・孤立にまつわる課題が一層深刻になっていることから、地域、学校等における孤独・孤立や、産前産後、幼少期、就学期、若者から高齢者に至る人生の各ステージにおける孤独・孤立を解消し、市民の心豊かな社会を実現するための総合的な対策について調査審議することを目的とする。

2. 委員会活動の経緯

(1) 第1回委員会（令和6年5月20日）

正副委員長の互選

(2) 第2回委員会（令和6年8月13日）

本委員会の設置目的（コロナ禍で、自殺、孤独死、引きこもり、ヤングケアラー、不登校等の孤独・孤立にまつわる課題が一層深刻になっていることから、地域、学校等における孤独・孤立や、産前産後、幼少期、就学期、若者から高齢者に至る人生の各ステージにおける孤独・孤立を解消し、市民の心豊かな社会を実現するための総合的な対策について調査審議すること）の範囲を議題とし、当局に対し質問を行う。

(3) 研修会（令和6年10月8日）

オンラインによる講演形式での実施。その後、講師に対して質問を行う。

- ・研修テーマ 地域から取り組む社会的処方の可能性について
- ・講師 一般社団法人プラスケア 代表理事 西 智弘

(4) 第3回委員会（令和7年2月5日）

本委員会の設置目的（コロナ禍で、自殺、孤独死、引きこもり、ヤングケアラー、不登校等の孤独・孤立にまつわる課題が一層深刻になっていることから、地域、学校等における孤独・孤立や、産前産後、幼少期、就学期、若者から高齢者に至る人生の各ステージにおける孤独・孤立を解消し、市民の心豊かな社会を実現するための総合的な対策について調査審議すること）の範囲を議題とし、当局に対し質問を行う。

3. 行政視察（令和6年10月31日～11月1日）

(1) 熊本市

テーマ 孤独・孤立対策官民連携プラットフォームについて

(2) 北九州市

テーマ 孤独・孤立対策について